

令和7年度 消防用水搬送訓練開催

令和7年 とかち広域消防事務組合と四協連絡協議会による 消防用水搬送訓練を行いました。【簡易水槽(1ヶ所)と防火水槽(1ヶ所)への消火用水投入訓練】

2025年7月15日午後より、本連絡協議会は(十勝地方生コンクリート協同組合、南十勝生コンクリート協同組合、西十勝生コンクリート協同組合、北東十勝生コンクリート協同組合の4協組で構成)とかち広域消防事務組合との「災害時における消防用水の確保に関する」協定書に基づき年1度の消防用水搬送訓練を実施し今回は南十勝生コンクリート協同組合の担当地域となり、訓練は今年で6回目を数え 最初にとかち広域消防局 長谷川局長の訓示と、来賓の大樹町長 黒川様の挨拶を受けて訓練の開始となった。

訓練は大火災を想定した行動の確認と、アジ車の誘導方法などについて実践をした。訓練参加者数は大樹町隊員と団員双方で22名、関係者52名の参加。



大樹町消防庁舎



車両訓練配置風景



車両訓練配置風景



隊員・団員・アジ運転手 整列



とかち広域消防局事務組合 長谷川局長訓示



大樹町 黒川町長挨拶



大樹タンク1 訓練前の大樹消防団整列



アジ車 構造説明 パネルと排水の実演



大樹1号 訓練前の大樹消防団整列



大樹町 防火水槽（投入前）



防火水槽マンホール投入口



防火水槽へ消火用水投入
簡易水槽とは違い 勢いよく投入を行う



放水状況



放水状況



訓練終了後の整列



南十勝生コンクリート協同組合 西向理事長講評

今回は、訓練開始以来始めて防火水槽へ直接消火用水の投入を行った。(毎回アジ車から簡易水槽への投入時間を記録、今回は防火水槽への投入時間も記録した)
訓練参加者には、近隣の中札内消防署・更別消防署・広尾消防署・幕別消防署忠類支署の皆様と、来年訓練予定の新得消防署の隊員の方々が訓練の記録をしていた。